



白い静寂が流れる。名園の雪化粧。

水前寺成趣園
(熊本市水前寺公園)

南国とはいえ、年に一、二度は熊本にも雪が降る。普段見慣れた水前寺公園も、うっすらと雪化粧をして、いつもと違った趣を見せてくれる。阿蘇の大自然がはぐくんだ伏流水が、ここ水前寺公園に湧き出す。冬でも暖かい池の水は、冷たい外気に触れると水蒸気をあげ、池面をレースの薄いカーテンのように覆ってしまう。

その向うにぼんやりと浮び上がる茅葺きの建物は、古今伝授の間。その昔、後陽成天皇の弟、八条宮智仁親王が、細川藤孝(幽斎)から「古今和歌集」の秘伝を受けたことから、この名が付けられた。

東海道五十三次の景色をかたどった庭園は、シーズン中修学旅行生など多くの観光客で賑わうところだが、雪をかぶり、この時ばかりは、しばし静寂が漂う。

撮影 宮井政次さん

